

# 地区だより

## 平成最後の役員に感謝

坂本町 清水 嘉信

今夏は記憶に残る猛暑であった。西日本の豪雨、台風21号の被害、そして北海道の大地震等、日本は災害列島であることを再認識した。幸いなことに花巻地域は7年半前の東日本大震災以降大きな災害はない。しかし油断は禁物である。

今年が平成最後の年、ひとつの時代が終わり来年は新しい時代に入る。平和であることを願うばかりである。そして来年は坂本町自治会役員改選の年でもある。

さて、「会報こぶし」の原稿依頼があったが、現在自治会役員ではない小学生は、地区行事も詳しく把握しておらず、たまたま懇親会に参加する程度である。ただ日頃思っているのは役員は大変



祝 坂本町敬老会 平成30年9月17日

な役目であるということ。町内でも御多分に漏れず超高齢化が進んでおり役員のなり手も少なく、シニアの方々にはご苦労をおかけしている次第である。

坂本町は8班編成で班長は持ち回り制。順番で回ってくるが、独居高齢者は役目を果たすことも難しくなってきた。自治会長などの責任者を決めるのも困難で、今後もずっと続く課題であり何とか対策を講じなければならぬ。このような問題は全ての団体や組織でも起こっていると聞くが、地方自治体の問題でもあり、花巻市と一緒に解決していかなければならない。

役員の中には、坂本町自治会、花北地区コミュニティ協議会、市の各委員、花巻神社や坂本稲荷神社の役職を兼務している方もいて、運動会、各種スポーツ大会、花巻祭りやにぎわい祭り、敬老会など各々の行事を計画、実施している姿に頭が下がる思いである。坂本町自治会役員もさることながら、花北地区コミュニティ協議会の役員の方々にも重責をかけていることに改めて感謝したい。

7月に花巻市議会議員選挙があり坂本町からも当選者があった。花北地区から3人立候補し3人も当選したことは嬉しい限りであり、今後の活躍に期待したい。

「世界(花北地区、各自治会)全体が幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」。小生も賢治さんの爪の垢でも煎じて飲みたいものである。

## 大盛況の第5回夏まつり

星が丘二丁目自治会 総務部 内村 俊彦

今年7月28日(土)に、星が丘の一号公園(通称・双子星橋公園)での開催となりました。参加者はこれまで最高の会員17世帯、PTAアパート世帯17世帯で人数は約350人でした。

催し物は、一世帯にチケット(自治会員世帯は500円分、アパート居住のPTA世帯は300円分の支給で、もっと欲しい方は現金で追加購入可)で楽しめる屋台(焼き物やビール、ジュース他ほぼ100円)、誰もが無料で参加できる流しそうめんや色々なゲームなどがあり老若が楽しめた内容でした。また、今回は第5回記念という事で歌手の(大迫出身)「ほりきりん」さん、「わ・太鼓・満月組」(花巻市民グループ)さんを招いてのライブでは幾度もアンコールがでるイベントもありました。

恒例、小中学生やPTA他の方々の踊り(桜台音頭他)後の「お楽しみ抽選会」は、これまでの温泉宿泊券はやめて(協賛の町

内32業者や個人等と自治会との良好なコラボこそが星が丘二丁目活性化の源泉であろうとのことでした。いただいた協賛金等はほぼ、星が丘町内のB級グルメを味わえるクーポン券となりました。各賞の貰い方は抽選時、手持ちの受付番号札と同一時に受け取れる訳ですが、番号読み上げ後7〜8秒以内に申し出ないときは失格で即再抽選のルールだったので一本目(2千円)2万円・計10本)から全員でカウントダウン5, 4, 3, 2, 1, 0の大合唱(失格分10回程でした)で大盛り上がりのフィナーレでした。

今回、大成功の夏祭りを計画から数々の準備、特に猛暑の中での約10張りのテントやステージ、屋台等のかたづけへご尽力いただきました役員、有志、ボランティア(G・Gや中学生他)の皆様方に明るい未来を感じました。



「流しそうめん」が腹いっぱい食べれた